

日本分析化学会九州支部 2023 年度 第 1 回常任幹事会 議事録

日時：2023 年 6 月 10 日（土）13:30 – 15:00

会場：熊本城ホール 3 階 会議室 G

出席者：井上高教（支部長），稲田幹（副支部長），井原敏博（本部理事），江藤真由美（庶務幹事），鈴木絢子（会計幹事），井倉則之（常任幹事，奨励賞選考委員長），大島達也（常任幹事），岸川直哉（常任幹事），栗崎敏（常任幹事），高椋利幸（常任幹事），竹中繁織（常任幹事），戸田敬（常任幹事・2023 年度年会実行委員長），浜瀬健司（常任幹事），川上健次（幹事），野間誠司（「ぶんせき」編集委員），末田慎二（Anal. Sci. 編集委員）（順不同，略敬称）

報告事項（略敬称）

1. 理事会（井原理事）

井原本部理事より，第 2 回理事会資料をもとに理事会報告がなされた．本部の予算状況が 2022 年度も黒字決算できたこと，現預金残高状況が例年並みに推移すると思われること，本部職員夏季賞与及び、在宅勤務を可能にするための規約改定等について説明があった．

2. 九州分析化学若手の会（世話人 佐藤→代理：庶務幹事 江藤）

庶務幹事 江藤(代理)より，「第 36 回若手研究講演会および第 41 回夏季セミナー」の開催概要の説明があった．支部長より，情報・意見交換会にふるって参加いただきたいとの要望あり（九州支部の若手の会員の減少に関して意見交換がしたいとのこと）．

3. 分析化学講習会（富安実行委員長→代理・支部長 井上）

井上支部長(代理)より，第 62 回分析化学講習会の開催に関して報告があった．

4. 各誌編集委員会

Analytical Sciences（編集委員 末田）

末田編集委員より，以下の内容について特記事項として報告があった．

今年度編集委員の体制：九州支部の加持先生が委員長

SDGs に関する特集号：発行済み（2023, Vol.39, Issue 5）；ゲストエディター 戸田先生ら

2023 年度年間特集号企画（"Frontiers of Separation Analysis"）：2023 年 8 月末まで投稿論文を受け付け中．

2024 年度特集号："Novel Analytical technologies contributing to clinical and pharmaceutical research fields", 2024 年 5 月の発行に向けて投稿論文を受け付け中；ゲストエディター 竹中先生，佐藤先生，浜瀬先生，巴山先生

分析化学（編集委員 森）→ 特に報告等なし

ぶんせき（編集委員 野間）

「ぶんせき」（編集委員 野間幹事）より報告があり，編集は順調で，特に報告事項はなかった。

5. 第 59 回化学関連支部合同九州大会（世話人 江藤）

世話人 江藤より，開催概要の説明があった。今年度は現地開催を予定。加えて，ポスターの審査委員に関して後若干名必要であり，今後も審査委員の打診がある旨が連絡された。

6. 機器分析ワークショップ

川上幹事よりの報告。2023 年度機器分析ワークショップに関しては，現在検討中であり，詳細が決まり次第連絡を行うとのことであった。2023 年度は大分・宮崎地区を対象として実施したい希望があるとのこと。

7. その他

特になし

議題

1. 支部役員の変更（庶務幹事 江藤）

以下の役員変更・異動が承認された。（以下敬称略）

（幹事の交代）高橋章→亀川尚登（三井化学分析センター），石田雄士→伊藤圭亮（東ソー（株）），満尾良弘→佐藤好美（日鉄テクノロジー）

（幹事→参与）吉村和久（九州大学アイソトープ総合安全管理センター），横山拓史（九州大学大学院理学研究院），山口敏男（福岡大学理学部）

また，企業在籍者の参与への推薦に関しては，特に規定上は問題ないことが確認された。今後井上支部長より対象者への打診を行うとのこと。

2. 九州分析化学学会賞及び奨励賞（選考委員長 井倉）

井倉選考委員長より，九州分析化学奨励賞選考委員会における選考の過程の説明があり，候補者 4 名全員を受賞対象者とする事が決定されたことが講評と共に説明され，これが承認された。尚，選考委員会の講評の一つとして，一部申請書類に関して内容が不十分ではないかと思われる点があり，申請の際は推薦者や指導教員の先生が提出物の確認等，注意をしてほしいとのことであった。

受賞対象者は以下の通り（順不同）：Fatema Kaladari（長崎大学），Ganjar Fadillah（熊本大学），小柳出 麻衣（九州大学），金子 諒右（九州大学）

3. 支部幹事会・講演会・見学会（支部長 井上）

庶務幹事 江藤より，支部幹事会・講演会・見学会の準備状況が説明された。1 泊 2 日

を予定していたが、常任幹事会内で日帰り(一日)で実施してはどうかという意見があり、日程及びスケジュールについては、再度執行部及び協力企業と検討し、常任幹事にメールにて内容を審議いただくこととなった。

4. 規約改定(支部長 井上)

① 支部学会賞及び奨励賞の推薦者の押印廃止

2023年3月にメールにて審議いただいた、推薦書の押印欄の廃止に関して、特に問題なく承認された。

② 奨励賞申請者の日本分析化学会への入会時期に関して

〔規定、第2条に関して〕奨励賞に応募する際の分析化学会への入会時期について
現規定：「受賞時までに入会申請」

変更案：「非会員は奨励賞への応募時までに入会済みもしくは入会申請中であること」
との内容に変更することです承。

執行部で規約及び推薦書の文言を変更後に、メールにて幹事へと連絡し審議。

③ 九州支部合同大会の規定に関して

九州支部が定めている「化学関連支部合同大会」の規約に関して、分析化学部門の表記が以前の「分析化学及び環境化学部門」のままとなっており、現状に即した形として、環境化学の表記を削除する提案が支部長より行われ、特に問題なく承認された。